

請 願 一 覧 表

令和6年8月29日（木）

請 願 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会
請 願 第 3 号	請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」	中津川市東宮町8-22 議員定数を考える市民の会 代表 渡辺 勝美 他2名	議員定数等 特別委員会

請 願 文 書 表

令和 6 年第 4 回中津川市議会（定例会）

令和 6 年 8 月 2 9 日（木）

受理番号	請願第 3 号	受理年月日	令和 6 年 8 月 2 3 日
件名	請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」	紹介議員	櫛 松 直 子
請願者	中津川市東宮町 8－2 2 議員定数を考える市民の会 代表 渡辺 勝美 他 2 名	付託委員会	議員定数等特別委員会

[請願の要旨]

中津川市の置かれた社会・経済環境は厳しく、少子高齢化と人口減少が進み行財政改革は喫緊の課題となっています。中津川市議会におかれましては更なる議会改革として議員定数・議員報酬を見直し、議員定数を削減するよう請願いたします。

[請願の理由]

中津川市議会ならびに議員各位におかれましては、平素より中津川市民の生活・福祉の向上および安全・安心のまちづくりのために御尽力されていることに感謝申し上げます。

さて、激変する世界経済環境の下、人口構造の少子高齢化と人口減少は、財政構造に変化をもたらし、国をはじめ各地方自治体の行財政改革を喫緊の課題として迫りました。中津川市においても合併後の健全財政確保が重要課題となり、その対応策推進に注力されてきました。

こうした状況の中、中津川市議会は議会改革として議会の立場から行財政改革に取り組み、平成 2 0 年 1 2 月には「議員定数問題等特別委員会」の調査研究を経て、議員定数を 6 人削減し 2 4 人とする条例を可決し、平成 2 3 年 4 月の統一選挙から適用しました。この市議会の英断は、当時の中津川市民に広く支持されました。

その後、平成 2 5 年 5 月には中津川市議会議員定数条例の一部改正により、定数を 2 1 人とし、平成 2 7 年 4 月の統一選挙から適用し、現在に至っています。

以来 1 1 年、ロシアの軍事侵攻を発端とする資源価格の高騰、円安、物価高などは市民生活に大きく影響し、中津川市ならびに中津川市議会に対して更なる行財政改革を求める声が高まっています。議員定数についても令和 5 年の市議会議員選挙において初の無投票となる事態に市民の見直しの声が高まりました。県下 2 1 市議会等の議員定数を参考にして、人口・面積、議員の報酬等々を勘案し、改めて見直す時に来ています。

賢明なる市議会におかれましては、近々特別委員会を設置し、検討の俎上に載せられると聞き及んでいます。もちろん議員定数の削減は、議会自らが検討した中で条例により決定されるものでありますが、中津川市の自治体規模から見れば、議員一人ひとりの自覚と責任をもって議会運営をすすめるな

らば、議員定数の削減は可能であると考えます。中津川市の将来を展望する時「議員定数を考える市民の会」としては、議員定数の削減が望ましいと考え、市議会の大英断を期待して、強く請願するものです。 以上